

未来のまちは小さな「まち」が集まった大きな『はこ』

未来のまちは、いろんな「まち」が集まった『はこ』。大きな『はこ』の中には、ファッションの「まち」、お食事の「まち」、雑貨の「まち」、伝統工芸の「まち」、昭和な「まち」、Bar の「まち」など、いろいろな「まち」がエリアごとに分かれています。

その間をつなぐように、公園や遊園地が点在し、「まち」から「まち」へ移動する時には、公園が遊園地を通り抜けていきます。一步足を踏み入れると、グリーンのシャワーが降り注ぐ公園は、マイナスイオン効果たっぷり。小川が流れている公園や、季節の花が咲き誇る公園、美味しい果実が実る公園など、一口に公園といっても、それぞれの公園に特徴があるのです。遊園地は、大人も子供も楽しめる夢の国。だから、「まち」から「まち」へただ移動するだけでも、知らず知らずのうちに、ちょっとした日常のストレスが解消されていくのです。

『はこ』の中での移動は、基本ノーマイカー。自分の足で歩くか、バス、トロッコ列車、自転車です。バスは、環境を考えて二酸化炭素を排出しない水素自動車か電気自動車。トロッコ列車は、カフェやスポーツジム、カルチャースクールなどの便に分かれていて、列車に乗っている空き時間に“ちょっと”が楽しめるようになっています。自転車は、レンタサイクルが主流で、300mごとに返却ステーションを完備。自転車の種類もママチャリだけでなく、たくさん買い物をする人向けに電動自転車の三輪車タイプ、『はこ』の中を巡るサイクリングタイプなど、目的にあわせて選ぶことができます。

ユニバーサルデザインにも対応し、バスやトロッコ列車は低床車。道の両端を走っていきます。子供の日や敬老の日、クリスマスなどには、特別にミニトレインやカボチャの馬車も走ってくれます。

けれども、どうしても急ぎの人のために、空中をすいすい走れる特別便もあります。急病やどうしても切が...という人のための便です。

『はこ』の中では、言葉の不自由も心配いりません。世界中の人が一目でわかるように、トイレや電話、通訳、休憩、案内などの看板をピクトグラムで表示されています。

日常生活の中では Eco がテーマ。食べ残しは、流しの横のボックスに入れると、パイプラインを流れて肥料センターへ行きます。パイプラインを流れている間に微生物が分解し、肥料センターで肥料となったら、今度は、各家庭の庭

や菜園、畑の土の中にパイプラインで定期的に配送されます。使う洗剤は、川や海に流れても汚染しない種類のみ使用 OK。建物は、樹木より高いものは禁止です。

また、住人や来訪者の安全のために、馬に乗ってお巡りさんが巡回。まるで飛び出し絵本のような、住んでいる人が楽しく、来た人も夢が見られるまちが理想のまちです。